

第 22 回直方市子ども・子育て会議議事録

日時：令和 5 年 2 月 16 日（木）18 時 30 分～

会場：直方市役所 5 階 503 会議室

出席者：植村委員（会長）、大和委員、石松委員、野口委員、池田委員、松村委員

事務局：こども育成課 加藤課長、安永係長、三村主任

《議題》

- 1) 保育所・幼稚園の定員変更について
 - ① 浄蓮寺保育園
 - ② 萬福寺さくら保育園
 - ③ 浄福寺幼稚園
 - ④ 直方セントポール幼稚園
 - ⑤ 新入幼稚園
 - ⑥ おんがの
 - ⑦ 清光寺幼稚園
- 2) 第 2 期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
- 3) その他
 - ・子ども・子育て委員の任期について（委員勇退）

《議題》

- 1) 保育所・幼稚園の定員変更について
- 2) 第 2 期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
（議題 1， 2 が関連しているため同時に進行）

○事務局より市内 7 園の定員変更について以下の表の通り説明

		3～5歳【1号】	3～5歳【2号】	1・2歳	0歳
1	浄蓮寺保育園		△18	+1	△3
2	萬福寺さくら保育園		△24	△14	△12
3	浄福寺幼稚園	△25			
4	直方セントポール幼稚園	△10			
5	新入幼稚園	△10			
6	おんがの	+9	=	=	=
7	清光寺幼稚園	+1			
	合計	△35	△42	△13	△15

※ +は増加、△は減少、=は変化なし

○事務局より定員変更によって、「第2期子ども・子育て支援事業計画」における1～3号認定の「確保の内容」の変更について説明。

- ・1～3号認定について、令和5年度、令和6年度の「確保の内容」を変更
- ・1号認定の令和5年度は666、過不足は52。令和6年度は666、過不足は56。
- ・2号認定の令和5年度～令和6年度は1015、過不足は21。
- ・2号認定の令和4年度の724から令和5年度に1015と大きく数字が増えている理由は、計画作成時には見込んでいなかった幼稚園の一時預かり事業によるものと説明。
- ・3号認定（0歳児）の令和5年度は151、過不足は0。令和6年度は148、過不足は0
- ・3号認定（1～2歳児）の令和5年度は546、過不足は35。令和6年度は549、過不足は48。

○事務局より議題1定員の変更理由について説明

- ・1、2の保育園については保育士の確保不足が定員減の理由。
- ・3、4、5の幼稚園については入園希望者の減少が定員減の理由。
- ・6については約1年前に認定こども園に移行したが、想定よりも入園希望者が多かったため定員増。
- ・7についても想定よりも入園希望者が多かったため定員増。

○質疑

（委員）「確保の内容」を見ると、待機児童は今後発生しないということか。

（事務局）この数字を参考に施策を考えていく目標値であるため、必ず発生しないとは限らない。

（委員）必要な定員数を確保できていないのか。

（事務局）この数字上、待機が出ているので、実際の数字とは差異がある。

（委員）あくまでも市の施策の方向性と捉えれば良いのか。

（事務局）はい。

（委員）令和5年度の申込はもう終了したのか。

（事務局）一次の申込が終わり、二次の申込に向けて調整を行っている段階である。

（委員）2号認定の①保育の必要性があるが学校教育利用希望が強いものと②保育の必要性があり保育所の利用希望が高いものとはほとんど差はなくなってきたと考えてよいのか。

（事務局）過去、就労している世帯は保育園、就労していない世帯は幼稚園という棲み分けがあったが、新制度に移行していく中で、統一化されてきており、利用者はどちらかを選択できるという状態になってきている。

（委員）資料をみると、計画上は過不足なく、利用希望分は賄えていると捉えてよいのか。

（事務局）はい。

(委員) 令和6年度の0歳児の数字はどこから算出されたものか。

(事務局) 出生数の統計をもとに算出している。

(委員) そうすると令和2年から出生数は減少しているということか。

(事務局) はい。

(委員) 少子化についてはコロナの影響も無視できない。

(事務局) 出生数の減少は事務局としても痛感している。

(委員) 定員減の理由としてもでてきたが、保育士の確保不足という現状がある。この現状について何か良い改善案はないか。

(事務局) 財源を考えると、長期的な計画にはなるが施策を打ち出す考えはある。

(会長) 明石市や流山市などの少子化改善に成功した市町村の例をみても予算の組み換えが抜本的な解決策となっている。

(事務局) 予算の組み換えは必要である。明石市は約8年かけてこども予算を120億から250億に増えたという話を聞く。直方市のこども予算を増額に向けて今後も声を上げること続けていく。

(会長) 予算の組み換えのために、声を上げ続けていくことが必要だということで議題1, 2については承認でよろしいか。

(委員) 承認。

(会長) 承認。

3) その他

○事務局より子ども・子育て委員の任期について説明。

子ども・子育て委員の任期が令和5年度8月31日で満了し、今回が任期期間中最後の会議になる。今回の任期で石松委員が勇退されることを報告。

閉会

[1] 1号認定

対象：3～5歳児

区分：保育の必要性はなく、教育ニーズが高い認定区分

(単位：人)

	平成31年度実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	621	648	638	618	614	610
他市町村の子ども	0	0	0	0	0	0
②確保の内容	1,090	703	679	665	666	666
市内	1,090	703	679	665	666	666
他市町村委託	0	0	0	0	0	0
過不足(②-①)	469	55	41	47	52	56
量の確保方策	私立幼稚園1園、新制度へ移行した私立幼稚園7園及び認定こども園1園で対応していきます。					

[2] 2号認定

対象：3～5歳児

区分：①保育の必要性があるが学校教育利用希望が強いもの

②保育の必要性があり保育所の利用希望が高いもの

(単位：人)

	平成31年度実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	825	851	840	811	994	994
学校教育利用想定	0	161	159	152	203	203
保育所利用想定	825	690	681	659	791	791
②確保の内容	762	755	755	724	1015	1015
市内	762	755	755	724	1015	1015
他市町村委託	0	0	0	0	0	0
過不足(②-①)	-63	-96	-85	-87	21	21
量の確保方策	引き続き認可保育所13園と認定こども園1園、市内8幼稚園(一時預かり含む)で対応していきます。					

[3] 3号認定

⑩歳

対象：0歳児

区分：保育の必要性あり

(単位：人)

	平成31 年度実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	110	161	158	155	151	148
他市町村の子ども	5	0	0	0	0	0
②確保の内容	273	264	264	264	151	148
市内	273	264	264	264	151	148
他市町村委託	0	0	0	0	0	0
過不足(②-①)	163	103	106	109	0	0
量の確保方策	引き続き認可保育所13園と認定こども園1園で対応していきます。					

②1～2歳

対象：1～2歳児

区分：保育の必要性あり

(単位：人)

	平成31 年度実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	515	534	532	521	511	501
他市町村の子ども	22	0	0	0	0	0
②確保の内容	425	411	411	399	546	549
市内	425	411	411	399	546	549
他市町村委託	0	0	0	0	0	0
過不足(②-①)	-90	-123	-121	-122	35	48
量の確保方策	引き続き認可保育所13園と認定こども園1園、市内8幼稚園(一時預かり含む)で対応していきます。					

